



あじさいだより



輪島市立鶴巣小学校
学校だより 第10号
令和3年1月29日

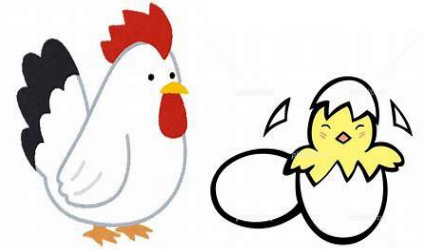
啐啄同時

「啐啄同時」という禅語があります。「啐(そつ)」は、ひな鳥が内側からたまごの殻をつつくこと。「啄(たく)」は、親鳥が外側から殻をつつくことをいいます。ひなは自分のくちばしでたまごの殻をつつき、少しずつ少しずつ時間をかけて自分で自分の殻を割っていきます。親鳥はひなのペースに合わせて、それを応援する意味で、外から殻をつついてやります。ひながまだつつこうとしていないのに、親鳥が先につついて(殻を破ってしまえば)ひなは生まれません。つまり、親鳥とひな鳥のタイミングが合うと、ひながスムーズに生まれる(たまごから出てこられる)という意味です。

この言葉は、教師と児童、親と子の関係においても、学ぶべき大切な言葉だといえます。

子どもが自分でやろうとしているのを待ちきれず、先回りしてついつい手助けしてしまうことを避けたいものです。しっかりと子どもの真の姿を見て、褒める、認める、叱咤する、励ます、等々、今、どんな言葉をかけたらいいいのか、タイミングを逃さず声かけをしたいものです。難しいことではありますが、親だからこそわかる言葉かけ、教師だからこそ言える言葉かけをし、その機を逃さず子どもの成長を促していくことができると考えます。

子どもは本来、自分で伸びていく力を持っています。私たちは焦らずに大らかに子どもを見守ることを心に留めておきたいものです。学校と家庭とが共に手を携えて子育てができますよう、これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



校長 滝井 篤子

<2月の行事予定>

2	火	太鼓練習(3・4年)	18	木	学校関係者評価委員会
3	水	6限クラブ	19	金	太鼓練習(3・4・5年) 6年生を送る会(13:15~15:00) ホットネット大作戦・インターネットと賢くつきあう方法(保護者対象)(15:15~16:00)
5	金	給食後下校(教職員研修のため)			
9	火	太鼓練習(3・4・5年)			
10	水	卒業写真	23	火	天皇誕生日 家族読書・ノーメディアデー
12	金	読み聞かせ	24	水	6限委員会 職員会議
16	火	太鼓練習(3・4・5年生) 全校シャトルラン	25	木	集金案内 計算コンテスト問題配付
17	水	いじめ対応アドバイザー研修会			

◎3月19日(金)卒業式(10:00~)

◎3月24日(水)修了式・離任式

<令和3年度「PTA役員選出及び専門委員会所属」について>

1月28日に行われましたPTA総会で、令和3年度「PTA役員選出及び専門委員会所属」について決めていただきました。積極的に立候補していただき、ありがとうございました。最終決定は来年度の4月のPTA総会で承認を受けてからとなります。

太鼓練習(3・4・5年生)…(1月26日)

2月19日に開催される『6年生を送る会』に向けての太鼓練習が26日から始まりました。今回も山田さんに指導していただいています。3年生にとっては、初めての太鼓練習となります。5年生と3年生がペアになっての練習で、3年生に教える姿も見られました。先輩として、やさしく教える5年生がとても頼もしく感じられました。

こうやってたたけばいいよ!



3・4年生学年発表(1月27日)

1月の全校集会は、3・4年生の学年発表でした。リコーダー演奏とお気に入りの詩の発表でした。6月からリコーダーの学習を始めたばかりの3年生ですが、4年生と心を一つにして『パフ』の演奏ができました。4年生は、『オーラリー』という高い『ミ』『ファ』を練習する曲なのですが、難しい高音をきれいに演奏することができていました。お気に入りの詩の暗唱もそれぞれしっかり覚えて、全校のみんなに心をこめて伝えることができたと思います。それぞれの頑張りが見られたとてもよい発表でした。

みんなちがって みんないい



なわとび大会(1月28日)

12月から『なわとび大会』に向けて、なわとびチャレンジカードでの短なわの個人練習や、たてわり班での8の字とびの練習を頑張ってきました。8の字とびの練習では、高学年が低学年に、アドバイスをしたり、入るタイミングを教えたあげたりする姿も見られました。なわとび大会では、それぞれ練習の成果が発揮されていたのではないのでしょうか。

ハイ!入って!



雪遊び・冬見つけ(1月28日)・・・(1・2年生生活科の学習)



<入賞おめでとうございます!>

<校内書き初め大会・入選>



<輪島市子ども作品展>

銅賞
銅賞
銅賞

<社会を明るくする運動作文コンテスト>

最優秀賞
石川県推進委員会委員長賞
5年 齊藤 詩優

<七尾児童館イラストコンクール>

七尾館賞 (6月のテーマ『雨の日』)
七尾館賞 (12月のテーマ『干支・うし』)